



# 学校だより

名古屋市立

高針台中学校

R 6.1.16 NO.10

## ☆ 3学期始業式

1月9日（火）に行われた、3学期始業式での校長講話をご紹介します。

私たちは、今日1月9日に始業式を迎えることができますが、1月1日に起きた能登半島地震によって石川県の公立小中学校の25%にあたる71校が始業式以降も休校となり、そのうち43校は再開のめどが立っていない厳しい状況となっています。当たり前のように毎日を過ごすことができる今の私たちの状況は、素晴らしいことで感謝しなければならないとみなさんも感じていると思います。地震によって被害を受けた地域の日も早い復興と一緒に願っていきましょう。今日、話の後半でもう一度能登半島地震のことについて触れたいと思います。

改めまして、みなさん、明けましておめでとうございます。2学期の終業式の日「自分を振り返ること」という話をしましたが、この振り返りから令和6年の目標を設定したことと思います。新たな気持ちで今日からスタートを切りましょう。

今日は、生徒会役員のみなさんが企画して、11月に2年生が実施した「高中ブロッククリーンフェス」について話をします。

2年前、私は生徒会役員の人から「これまで地域の人にお世話になってきたので、中学生の私たちから恩返しをしたい」という思いを聞きましたが、その後もこの思いを生徒会役員の人たちはずっともち続けていました。そして、この前の夏休み、生徒会役員の人たちと各小学校の地域の代表者である区政協力委員長さんたちが話し合いを行いました。

そこで、「地域の人に貢献する」と「小学生が中学校に入学しても不安にさせない」との思いから、小学生・中学生・地域の人たちが一緒になって自分の住んでいる町内の清掃活動をする案が出され、「高中ブロッククリーンフェス」という取組が生まれました。

今回初めての試みということで、思い通りに進まなかったこともありましたが、小学生の事後アンケートでは「中学生と一緒に活動して楽しかった」「中学校の部活動のことを教えてもらえた」、地域の方からは「子どもたちと話ができて楽しかった」「中学生は頼もしかった」などの声が聞かれ、大成功だったと思います。でも、生徒会役員の人たちはこれらの声に満足することなく、2学期の終業式の午後に、各学区の区政協力委員長さんたちと今回の実施した取組の成果や課題を意見交換するとともに、具体的な改善策などについても話し合い、来年の実施に向けて動き始めていました。先生たちの指示ではなく、自分たちの思いから行動を起こしているこの取組は、主体的に取り組む姿そのものです。私はとても頼もしく感じています。

実はこの地域に貢献する活動は、今日はじめに話をした能登半島地震にもつながっています。それは、1学期に行われた防災訓練や2学期の始業式で私が話をした「災害が起きた時に地域の中心となって人を支える活動をするのは中学生のみなさん」ということです。家の近くに、足が不自由で移動するときに支援が必要な人や、力が弱くて物を運ぶときに支援が必要な人が必ずいると思います。このような人たちとつながるために、2年生は「高中ブロッククリーンフェス」を通して、住んでいる地域の人たちと一緒に清掃活動を実施したのです。

「高中ブロッククリーンフェス」は、将来起こりうる災害にも備えることができる素晴らしい取組です。私の知っている限り、このような取組をしている学校はないと思います。この取組を高針台中学校がしていることに自信をもってください。

今、みなさんが過ごしている学級はあと3か月で終わります。生徒会役員の人たちが小学生や地域のために動き出したように、みなさんも自分の学級が掲げている学級目標を達成するために、一人一人が動き出してください。そして、3年生は卒業式に、1・2年生は3学期の修了式に、自分の学級の人たちと別れることがさみしいと感じる学級をぜひ作り上げてください。みなさんの積極的な取組を期待しています。